

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公表番号】特表2010-518677(P2010-518677A)

【公表日】平成22年5月27日(2010.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2010-021

【出願番号】特願2009-548161(P2009-548161)

【国際特許分類】

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 04 J 1/00 (2006.01)

【F I】

H 04 J 11/00 Z

H 04 J 1/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月26日(2010.3.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

伝送パーティで参照信号シーケンスを伝送する方法において、

单一または多重のリソースブロックの大きさに該当する多様な長さを有する单一または多重の基本シーケンスを取得し、

参照信号シーケンスを生成するために1つ又は複数の基本シーケンスに多様な循環移動に該当する循環移動を適用し、

前記参照信号シーケンスを受信パーティに伝送し、

前記基本シーケンスは複数個のシーケンスグループに分割された複数の基本シーケンスの中から取得され、

前記それぞれのシーケンスグループは、前記それぞれの長さに対して少なくとも一つ以上のシーケンスを含むことを特徴とする参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項2】

前記リソースブロックサイズは周波数ドメインにおいて12個のサブキャリアのサイズに相当する、請求項1に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項3】

1つ又は複数の前記基本シーケンスは、該当する参照信号シーケンスの大きさより小さい最大素数によって与えられた長さ( $N_{zc}^{RS}$ )を有するZCシーケンスの循環拡張によって取得される、請求項1に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項4】

1つ又は複数の前記基本シーケンスは、該当する参照信号シーケンスの大きさより大きい最小素数によって与えられた長さ( $N_{zc}^{RS}$ )を有するZCシーケンス切断によって取得される、請求項1に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項5】

前記シーケンスグループの個数は30である、請求項1に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項6】

前記それぞれのシーケンスグループは、前記リソースブロックの大きさの1倍乃至5倍

の長さに該当するシーケンスで各長さごとに 1 個の基本シーケンスを含み、前記リソース ブロックの大きさの 6 倍以上の長さに該当するシーケンスで各長さごとに 2 個の基本シーケンスを含む、請求項5に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 7】

前記リソースブロックの大きさの 3 倍以上に該当する長さを有する前記基本シーケンスは、特定の Z C シーケンスインデックス ( q ) の Z a d o f f C h u ( Z C ) シーケンスを用いて取得され、前記リソースブロックの大きさの 1 倍または 2 倍に該当する長さを有する前記基本シーケンスは、前記 Z C シーケンスと異なるシーケンスを用いて取得される、請求項6に記載の参照信号シーケンス伝送方法。

【請求項 8】

前記特定の Z C シーケンスインデックス ( q ) は、グループインデックス ( u ) の関数で、前記グループ内の基本シーケンスナンバーインデックス ( v ) である、請求項7に記載の参照信号シーケンス伝送方法。